

生駒市のワクチン接種について

生駒市では、医師・看護師の公募や生駒市版大規模接種会場の開設など、独自の取組を進めて接種体制を強化した結果、新型コロナウイルスワクチンの接種を希望するすべての高齢者に対し、「7月下旬までに接種完了」いたします。

5月中旬から6月上旬までは、接種がなかなか進まない時期があり、皆様にご心配をおかけしましたが、今では他の自治体に負けないスピードでどんどん接種が進んでいますのでご安心ください。基礎疾患をお持ちの方や64歳以下の方への接種も順次進めてまいります。

皆様の周りでワクチン接種についてご心配している方がおられたら、ぜひこのニュースの内容をお伝えください。

接種スケジュール

市内高齢者(約35,600人)が2回接種を完了するために必要な接種回数

35,600人×2回×80%
=約57,000回
(接種率80%と想定)

会場・接種日		接種のスケジュール	7月末までの接種回数見込み
大規模接種	平日(6時間)	6月23日から6月29日 7月14日から7月20日の合計10日間	1日1200回×10日 =12000回
集団接種(土・日)3会場	土(3時間) 日(6時間)	5月15日から開始 6月から会場数を2→3に増加	約450回/週×3会場 =約13500回
集団接種(平日)2会場	平日(6時間)	コミセン:6/9開始300回 6/16から420回 はばたき:6/16開始450回 6/23から660回	1日約1080回×週5回 =約32600回
生駒市立病院	平日(2時間)	4月19日から開始 6/2から40→60回 7/5から84回	約4700回
市内4病院	平日(2時間程度)	白庭病院:5月24日から開始 その他3病院:6月上旬から開始	4病院で1日約80回 =約3800回
診療所(約30か所)	平日	6月3日に診療所向け説明会ののち、 6月中旬から順次予約開始・接種開始	1日12回×30か所 =約9300回
高齢者施設(約30か所)		施設と市との調整後、 6月中旬から順次接種開始	約2600回(施設利用者) +従業員への接種
合計			約78500回



ワクチン接種スケジュール



強化した取組み体制の整備



接種場所一覧



本市の高齢向けワクチン接種の状況

85歳以上
(対象者約5,600人)

接種申込書を返信されたすべての方の予約が完了しており、7月初めまでに2回目の接種が完了予定です。現在は、高齢者福祉施設、かかりつけ医、ご自宅での接種を希望する方に対する接種をきめ細やかに進めています。

75～84歳
(対象者約13,000人)

接種申込書を返信されたすべての方の予約が完了しており、6月中旬に1回目、7月中旬までに2回目の接種が完了予定です。

65～74歳
(対象者約17,000人)

6月11日に予約方法をお知らせし、郵送とインターネットによる申込みを受け付けつつ、順次接種を進めています。1回目の接種を7月上旬までに、2回目の接種を7月下旬までに完了する予定です。

基礎疾患を有する方・
64歳以下の方

6月14日から25日まで事前申告を受け付けた上で、予約・接種を6月中には開始予定です。その他の64歳以下の方についても7月2日に接種券を送付し、順次予約・接種を進めてまいります。

○医師・看護師の公募による接種枠の拡大

生駒市の独自の取組として公募を行った結果、多くの応募をいただきました。これにより、平日の集団接種や大規模接種会場の開設、接種枠の拡大が可能となりました。

- ◎医師の応募 30人(募集枠10人)
- ◎看護師の応募 107人(募集枠20人)

○市内病院・診療所での接種開始、接種枠の拡大

生駒市立病院をはじめ、市内5つの病院で接種を開始しています。今後は、安全性を確保しつつ、接種枠を拡大します。また、6月上旬から市内診療所におけるワクチンの予約受付・接種を順次開始しています。予約の電話が殺到することを心配して診療所名を公表していない診療所もありますので、詳しくは診察時などにかかりつけ医にご相談ください。

○高齢者施設での接種開始など

高齢者施設に入所されている方の接種方法につき、施設の担当者と市で調整を進めており、接種準備が整った施設から6月中旬以降、順次接種を開始します。

○生駒市版大規模接種会場の開設

6月23日から生駒市独自の大規模接種会場を開設し、1日で約1200人の方への接種を予定しています。

○円滑な予約システムの確立

「電話をいくらかけても繋がらない」といった不満の声が全国的に広がる中、生駒市の「電話を使わない予約受付」が、優良事例として国から全国の市町村に紹介されています。これは、接種希望者に対し、市が1回目と2回目の接種日時・場所を決定し、ハガキで接種日決定通知書を返送する方法です。指定の日時では都合がつかない方は、市にご連絡いただき調整を行います。電話回線がパンクするようなことはなく、スムーズに予約受付が進んでいます。



令和3年度の主な事業

コロナ禍での必要な事業を精査し、しっかり前に進めます!



子育て・教育

学校給食センター整備事業

中学校給食やアレルギー対応食の提供に必要な施設・設備の整備を行います。(2億5,748万円)

市立幼稚園の夏休み預かり保育の全園実施

昨年、モデル事業として実施した夏休みの預かり保育を全園に拡大。子育てと仕事を両立したい家庭を支援します。(181万円)

児童・生徒へのメンタルケア事業の拡張

コロナ禍で懸念される子どもたちの心のケアを充実するため、不安定な心の状態を早期発見し、解決する体制づくりを進めます。その一環として「SOSの出し方教育」研修会の実施に加え、スクールカウンセラーの配置を拡充します。(1,151万円)

保育園・こども園の紙おむつ回収事業

保育園・こども園などに通う保護者の負担軽減を図るため、在園中に使用した紙おむつの回収を全園で実施します。(1,264万円)



福祉・健康

「地域包括ケアシステム」の推進

増加する高齢者の多様なニーズに対応するため、生活支援コーディネーターを地域包括支援センターへ拡充配置し、不足する社会資源の発掘・創出や地域のネットワークづくりを進めます。(1億9,401万円)

地域外来検査センター事業の継続

新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者への迅速な検査体制を確保するため昨年11月に開設したドライブスルー方式の地域外来検査センターを引き続き運営します。(2,107万円)

北部地域障がい者福祉事業所整備事業

障がい者福祉施設は市域の中南部地域に集中して立地しています。そこで、旧高山幼稚園跡地を活用し、障がい者福祉事業所を誘致するための整備を実施します。(1,768万円)

基幹型地域包括支援センターの設置

市役所内に基幹型地域包括支援センターを設置。市内6地域包括支援センターの個別ケースへの対応力の向上などを目指し統括・総合調整や連携の強化など、各包括支援センターへの後方支援を行います。(1,320万円)



まちづくり

生駒山ブランド化推進事業

本市最大の観光資源で、観光客入込数の約8割を占める生駒山。観光客に周遊・滞在してもらうための体験型コンテンツを拡充し、その魅力を発信。コロナ禍の新しい観光需要「ワーケーション」も進めます。(100万円)

地域・社会活動創出支援事業(まちサポいこま)

地域社会に還元できる公益活動を発掘・育成するために、住民や事業者が主体的に取り組む公益事業に対し助成を行います。(184万円)

生駒市版エコノミックガーデニング

地域経済を支える市内中小企業の活性化に向け、変革と挑戦に取り組む中小企業の発掘・育成を行います。創業支援も併せて実施します。(345万円)

生駒駅南口周辺都市空間再編事業

生駒駅南口周辺において、本市の玄関口にふさわしい魅力ある拠点形成をさらに進めるため、地域関係者とともにエリアプラットフォームを構築。都市空間の再編に向けた取組を進めます。(990万円)